



気仙地域 縄文遺跡探訪 バスツアー

陸前高田市・大船渡市

「海とともに暮らした縄文人」 のあしあとを辿る。

12月1日(日)「バスツアー」を開催し、岩手県陸前高田市と大船渡市の博物館や遺跡を見学しました。今回訪れた気仙地域は、貝塚密集地帯として有名な地域で、縄文時代から、三陸の海の幸を活かして生きてきたことを物語る出土品がたくさん見つかっています。

1 陸前高田市立博物館



東日本大震災で全壊し、令和4年にリニューアルオープンした陸前高田市立博物館。同市の歴史・文化・自然が、震災の記憶と共に展示されています。考古学コーナーでは、壁一面に釣針やモリといった

縄文時代の漁労具がずらり! (トップ写真) 参加者さんは「この精巧さはスゴイ!」と感心しきりでした。文化財レスキュー展示は、当時の資料の被災状況の再現とともに、再び展示するまでの軌跡が丁寧に表現されていたことが印象的でした。



「博物館資料を持ち去らないで下さい。高田の自然歴史文化を復元する大事な宝です。市教委」

博物館の資料を大切に思う誰かが被災した博物館作業室に置いた書置き。博物館再生のシンボルとして、展示室の入口に展示してあります。

2 関谷洞窟遺跡

縄文時代早期から晩期にかけての洞窟遺跡を見学。懐中電灯を手に、探検気分で洞窟の中へ! あちらこちらに散らばる動物の骨を学芸員が示すと、皆さん驚きの表情を見せていました。



3 大船渡市立博物館

バスツアー最後は「大船渡市立博物館」。開催中の企画展「縄文貝塚と釣針」と常設展を見学しました。特別展では大船渡市の貝塚から出土した釣針のカタチの多様性について解説。常設展では、縄文時代と近代の漁労具が比較展示されており、縄文時代から漁労具の形がほぼ変わらないことを視覚的に捉えることができました。



講演会 開催のお知らせ

「道嶋氏の台頭と陸奥国」

日時：2025年1月19日(日) 13:00～

場所：赤井市民センター (予約不要)

講師：吉野武氏 (宮城県多賀城跡調査研究所所長)

現在資料館で開催中の「牡鹿柵造営だいたい 1300年企画展」の関連企画として、宮城県多賀城跡調査研究所の吉野所長をお招きし、「道嶋氏の台頭と陸奥国」と題した講演会を開催します。ぜひお越しください!

企画展は2/24まで! 赤井官衙遺跡から出土した遺物を一挙公開中! 御城印「牡鹿柵」も配布しています。

【年末年始休館】

2024年12月28日(土)

～2025年1月5日(日)

縄文村公式 SNS
やっています!

縄文村の日常を更新中。
フォローも大歓迎です!



Instagram



Facebook

土日体験の情報も公開中!

旧年中はたくさんのご来館
ありがとうございました
今秋縄文村は
より楽しんでいただける資料館に
‘脱皮’ するため
リニューアル休館いたします
イベントなどは変わらず行っていく予定です
2025年もどうぞよろしくお願いいたします

